第１２６回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２７年１２月４日提出）

１．題　目：平成 28 年度モジュールⅡのシラバス作成支援

２．日　時：平成 27 年 10 月 21 日（水）　12：50～14：20
10 月 27 日（火）　12：50～14：20
10 月 29 日（木）　10：30～12：00
11 月 2 日（月）　12：50～14：20
11 月 2 日（月）　16：10～17：40

３．場　所：事務局第 5 会議室（教育学部 2 階）
坂本地区病院会議室 B（歯学部 C 棟 2 階）
坂本地区会議室 A（歯学部棟 8 階）

４．主　催：教務委員会
企画・実施：　評価・FD 教育改善専門部会

５．対　象：全学モジュール第 4 クール・モジュールⅡテーマ責任者および科目責任者

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
すでにご案内の通り，第４クールの全学モジュール科目では主に「考える力」の向上をめざした授業を準備していただき，さらに効果的なアクティブラーニングを進めていただくことになっております。しかし，具体的にどのような「考える力」をめざすのか，またそのために適切なアクティブラーニングの方法はどういうものかなどについて十分な情報提供がないまま来ておりますので，お困りの先生方もおられることと拝察します。
そこで，来年度のモジュールⅡ科目のシラバス作成に際して，大学教育イノベーションセンターの教員から情報提供とシラバス作成支援をさせていただければと考えております。

できれば各科目責任者の先生方にもお声がけいただき，シラバス内容の調整の機会としてもお役立てください。

８．プログラム構成［題目・担当講師］

【講師】　山地 弘起 教授
若菜 啓孝 教授
岡田 大輔 助教
北村　　史 助教（大学教育イノベーションセンター）

【内容】

① モジュール方式の確認
② 第４クールでの変更点
③ 「考える力」に焦点をおく授業設計指針
④ 授業設計に役立つコンテンツ類（紹介）
⑤ シラバスの作成要領（とくに到達目標と成績評価について）
⑥ 質疑応答ほか

９．参加者：２５名（受講証発行対象者：２５名）

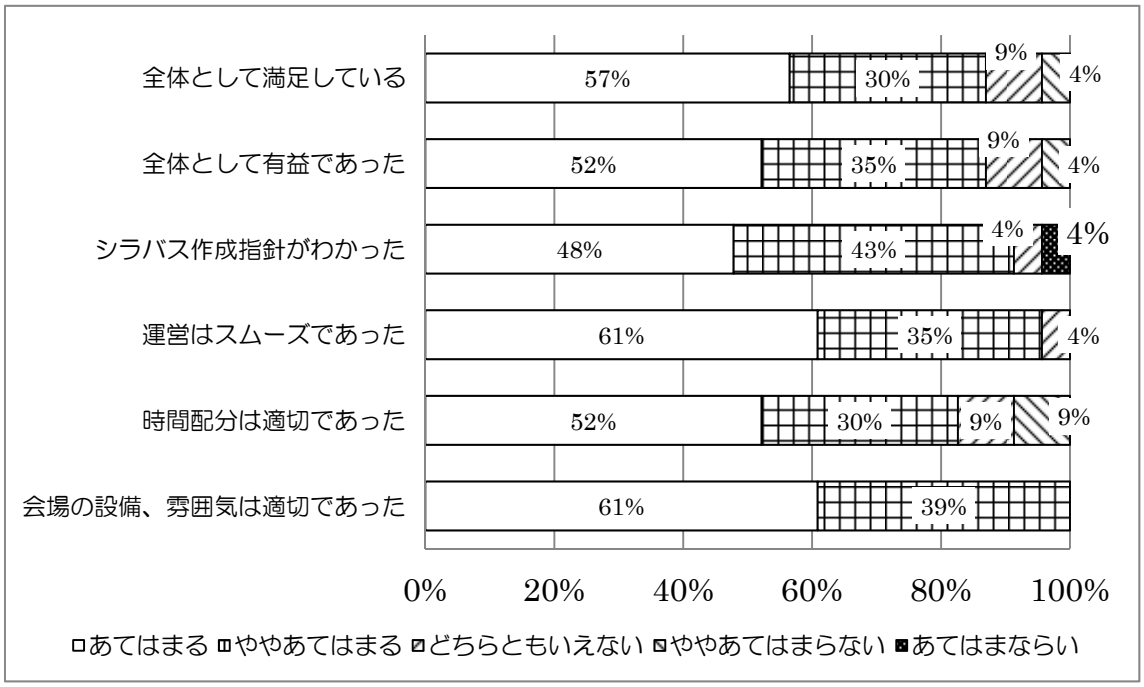
（内訳）

所　　属	人　　数
教育学部	1
経済学部	1
多文化社会学部	1
医歯薬学総合研究科（医系）	4
医歯薬学総合研究科（保系）	1
医歯薬学総合研究科（歯系）	2
医歯薬学総合研究科（薬系）	2
水産・環境科学総合研究科（水産）	3
水産・環境科学総合研究科（環境）	4
産学官連携戦略本部	2
ICT 基盤センター	1
言語教育研究センター	2
病院	1
計	25

※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等

（１） 参加者からの評価



（回答者：24 名）

● 今回参加なさって、何か感想や意見がありましたら、ぜひ率直にご記入下さい。

・ 授業設計の支援をよろしくお願いします。（教育職員）

・ ていねいな説明をいただいたと感じています。（教育職員）

・ 大変有益でした。いただいたアドバイスを授業やシラバス作成に活かしていきたいです。（教育職員）

・ 他の先生のやり方の意見交換をもっとふやす。（教育職員）

・ Active Learning のやり方が良くわかりました。（教育職員）

・ 教員全体に基本的なモジュール教育のしくみを理解させる機会が必要と思う。（教育職員）

・ 3 科目の配置順も検討の必要があると知りました。授業内容的に「創造的思考」など該当しにくいものもあるように思いました。（教育職員）

・ 質問方法が判ったので満足です。（教育職員）

・ 新しいシラバスの例（実例）を見たかったです。（教育職員）

● 内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたらご記入下さい。

・ 内容的にちょうど良い時間配分だと思います。（教育職員）

・ テーマ責任者の教員が科目担当をしている目上の先生方に授業内容やアクティブ

ラーニングのとり入れ方について指示することはできないので，イノベーションセンターのインストラクターの方に全ての教員の授業に１回でも良いので参加していただいて，授業改善のコメントをして頂きたいです。（教育職員）

・ 時間厳守で運営をお願いします。（教育職員）

● 今後，FD のテーマや実施方法などに関して何かご希望がありましたら，ご記入ください。

・ シラバスについては，もっと「考える力」にしぼって書き方を教えてほしい（教育職員）

・ 本日のように，授業を行うにあたって有用な情報リソースが大学内にどのような形で，どういう内容のものがストックされているか教えていただけるとありがたいです。（教育職員）

・ 学生に興味をもたせる授業のやり方（教育職員）

・ 出席しない学生への対応（教育職員）

・ シラバスクリニックの様なもの（教育職員）

・ 大人数でのアクティブラーニングの方法（教育職員）

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

本ＦＤでは、第４クールのモジュールⅡの趣旨と有用な支援コンテンツの紹介を前半に行い、後半でシラバスの基本的な要素に関する確認を行った。全体として参加者の満足度は高いといってよいが、参加したテーマ責任者は全体の半数程度であり、モジュール全体で今後の方針が共有されたとは言いがたい。（この点に少しでも対処するため、今回の内容を最低限伝える動画ファイルを大教センターhp 上で提供している。）また、より具体的なシラバス事例･授業事例の提示やインストラクショナルデザイナーの役割への期待が高く、実際の授業設計支援に向けたサポート体制を早急に固めてテーマ責任者に周知する必要がある。

なお、８月のＦＤ（モジュールＩのテーマ責任者対象）に続き、今回も日程調整のうえで同一内容のＦＤを複数回実施したが、この方式によって少人数で質疑応答や意見交換を進めることができ、参加者だけでなく大教センターのスタッフにとっても有益な機会となった。

１１．実施代表者の連絡先

教務委員会委員長　松坂 誠應
e-mail：nobuou@nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2003

１２．申請者の連絡先

学生支援部教育支援課教養教育班
主査　入口 忠義
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2077